

いわふね
自然愛好会
会 報

2026. 8. 28

第 64 号

発行:いわふね

自然愛好会

(2026. 2 月～2026. 7 月までの記事)

2026 年度

いわふね自然愛好会 役員会 7 月 18 日 (土) 開催
於：マナボーテ 2 階 小会議室



前半の活動が終わったところで役員会が行われました。

前半での大きなことは、宿泊研修の中止でした。

他はほぼ順調に進み、後半の活動が待たれます。

宿泊研中止により親睦の場が少なくなったため、何かそれに代わるものはな

いかを考えているところです。このままでいけば、宿泊研を来年度も計画できなくなりそうです。皆さん、良い知恵はありませんか？

山居山自然観察会 (2026.4/5 (日))



感想は次ページにあります。

感想1

一般参加 中村憲 さん

村上に生まれ育ちながら、一度も足を踏み入れたことがなかった山居山。心ある皆さんのお力で、階段や遊歩道が整備されたことを知り、まず感動しました。今回、その道を歩きながらたくさんのことを教えていただきました。キクザキイチゲの群生・つややかな葉はモミジハグ

マ・ショウジョウバカマの葉先からのクローン生成（不定芽）の不思議等々、大収穫でした。



キクザキイチゲ

脚力を鍛え、またぜひ参加させていただきたいと思いました。

感想2

一般参加 小池 明 さん

4月5日、山居山自然観察会に参加しました。羽黒神社の階段を登ると会員の方からヒサカキの雄花と雌花の違いについてヤブツバキとユキツ

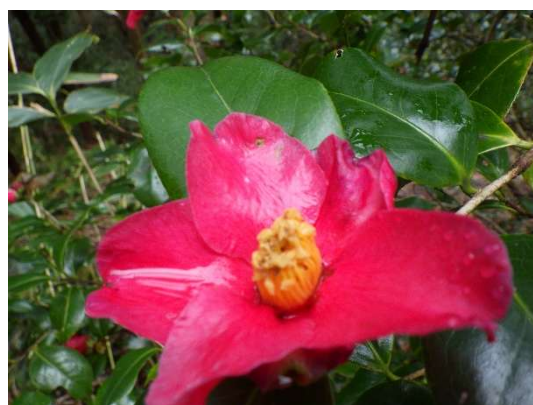


コシノコバイモ

バキの見分け方を教えていただき、いつもながら植物の詳しいことに驚きました。散策時、コシノコバイモの可憐な姿にほっこり。この花を見るのは2回目ですが、花が真下に向いているのが可憐で好きな花の1つです。生育地が山形県鶴岡市から石川県にかけてとのことであまり広く分布していないめずらしい花だと知ることができました。また来年この花に会いに行きたいと思います。

他に出会えた草花

エンレイソウ、ショウジョウバカマ、カタクリ、ユキツバキ等



高坪山自然観察会 (2026.5/24 日 (日))



感想

一般参加 箱 千 さん

富士山登頂を目指して近隣の山でのトレーニングを計画している中、会員である中村直人さんからの誘いで、高坪山自然観察会に初めて参加させていただきました。

樹木に詳しい武田宏さんと会員の方々から、植物についての膨大な知識のもと、愛にあふれる説明をしていただき、何気に目にしている植物たちが、それぞれ工夫しながら一生懸命に生きている



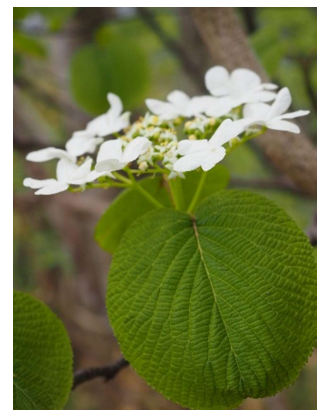
のだなあ、としみじみと実感しました。

印象深かったのは、案内がなければ決して近づくことができない単幹ブナの巨木に会えたことです。推定 300 年以上、人の手で切られることなくひっそりと立ち続けていた巨大なブナは、さすがに朽ち始めているものの、生き続けようとするエネルギーのようなものを感じました。頑張って頑張って立ち続けてください！！

予報では10時ころには雨が止むとのことでしたが、一日中、小雨まじりのはっきりとしない天候でした。しかし、植物の新情報に驚きや感心を繰り返し、「天候はまあいいか」と思える楽しい山歩きとなりました。皆様ありがとうございました。

他に出会えた草花

アラカワカンアオイ、オオバキスミレ、オオカメノキ等



要害山自然観察会 (2026.6/28 日 (日))



感想 一般参加 遠山 文 さん

一般参加で自然愛好会の要害山観察会に仲間に入れてもらい楽しんできた。6月15日の下見と本番、両方参加出来、有意義であった。

まるで我々の為のように登山道山頂まできれいに草刈りされ、本番の折にはのろし山、物見山までもさっぱりされていたのは良かった。だが、目をつけていたイチヤクソウがなくなっていたのは残念。私は観察するよりもながめる程度で会員の皆さんには本当にくわしく感心する。

山頂に上がれば荒川の蛇行、水鏡であった田んぼは青々と広がり、うっすらと角田、弥彦、左手には高坪山、杵差岳が見える。吹き上げてくる風が心地よい。ヤマナラシもサワサワとうれしそうだ。

山もすっかり眠りからさめ、一番好きな山笑う期間はアツという間に過ぎ、今は緑滴る季節である。9月の観察会は普済寺の大場沢城址が計画されている。行ったことはあるものの愛好会の皆さんとご一緒できるのは又格別で今から楽しみだ。



イチヤクソウ 近重雄氏から借用
遠山さんが出会えず残念がっていた花



【編集後記】

他の会報の係の方を探してだいぶたちますが、まだ変わらずにやっています。活動のほんの一部の足跡だけの会報ですが何とかやらせていただいています。

うれしいことは、一般の方も会員の方も、「感想を書いていただけませんか？」とお願いすると、「はい分かりました。」と返ってくる人が多いことです。大変助かります。今後ともよろしく願いします。(中村 記)

いわふね自然愛好会会報 第64号
発行者：会長 梅田 温美
〒958-0853 村上市山居町1-3-52
Tel 0254-53-4493
E-mail :aumeda@lime.ocn.ne.jp
編集：会報担当 中村 巖

